

(22) こまつな

病害虫	防除法	参考事項							
萎黄病	(耕種的・物理的防除) 1 抵抗性品種(あゆみ、わかみ、極楽天、楽天等)を選ぶ。 (薬剤防除) 1 土壌消毒をする(共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項を参照)。								
白さび病	(耕種的・物理的防除) 1 雨よけ栽培をする。 2 収穫後の残さは丁寧に取り除き、畑にすき込まないようにする。 3 抵抗性品種(なっちゃん、きよすみ、わかみ等)を選ぶ。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 発病初期に下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>アミスター20フロアブル</td></tr><tr><td>ジーファイン水和剤</td></tr><tr><td>ピシロックフロアブル</td></tr><tr><td>ヨネボン水和剤</td></tr><tr><td>ライメイフロアブル</td></tr><tr><td>ランマンフロアブル</td></tr></table>	薬剤名	アミスター20フロアブル	ジーファイン水和剤	ピシロックフロアブル	ヨネボン水和剤	ライメイフロアブル	ランマンフロアブル	○ 露地栽培で発生する。 ○ 5～7月、10～12月に降雨が多いと多発する。
薬剤名									
アミスター20フロアブル									
ジーファイン水和剤									
ピシロックフロアブル									
ヨネボン水和剤									
ライメイフロアブル									
ランマンフロアブル									
立枯病(リゾクトニア菌)	(耕種的・物理的防除) 1 ほ場の排水性を高め、かん水過多にならないよう管理する。 (薬剤防除) 農薬登録情報【立枯病(リゾクトニア菌)】・【リゾクトニア病】 1 フロンサイド粉剤又はリゾレックス粉剤を全面土壌混和する。 2 リゾレックス水和剤を散布する。	○ リゾレックス粉剤及びリゾレックス水和剤は、リゾクトニア病での登録。							
炭疽病	(耕種的・物理的防除) 1 雨よけ栽培をする。 2 発病株は直ちに取り除く。	○ 露地の6～10月に降雨が続くと多発する。 ○ 潜伏期間は3～4日でまん延が早い。							

病害虫	防除法	参考事項					
根こぶ病	・共通防除の章の資材・苗床・本畑の消毒の項および根こぶ病菌によるあぶらな科野菜根こぶ病の防除の項を参照する。 (耕種的・物理的防除) 1 発病歴のないほ場を選定する。 2 連作を避け、あぶらな科以外の作物と4～5年以上のサイクルで輪作する。 3 発病ほ場では抵抗性品種を作付ける。 4 遊走子が根に感染するためには水が必要であるため、ほ場の排水を良くする。 5 水稻後作では高さ20～30cmの高うねとし、うね内の停滞水をなくす。 6 地温が18℃以上で発病するため、は種時期や定植時期を調整する。 7 pH7.2以上では発病が抑制されるため、土壌pHを矯正する。 8 罹病残さから休眠胞子が拡散するため、発病株は早期に抜き取り、ほ場外に持ち出して処分する。 9 発病ほ場から耕うん機等を移動する際には、機械に付着した休眠胞子を取り除くため、土をよく払い落とし、丁寧に水洗する。 10 ほ場内のあぶらな科雑草も伝染源となるため、除草を徹底する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 バスアミド微粒剤/ガスタード微粒剤によって土壌消毒する。 2 以下の表の薬剤のいずれかで防除する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>オラクル顆粒水和剤</td></tr><tr><td>ネビジン粉剤</td></tr><tr><td>ネビリュウ</td></tr><tr><td>フロンサイド粉剤</td></tr></tbody></table>	薬剤名	オラクル顆粒水和剤	ネビジン粉剤	ネビリュウ	フロンサイド粉剤	
薬剤名							
オラクル顆粒水和剤							
ネビジン粉剤							
ネビリュウ							
フロンサイド粉剤							

病害虫	防除法	参考事項																			
アオムシ	(予防に関する措置) 1 生育初期から被覆資材(ワリフ、寒冷紗、タフベル、パスライト等)で覆い成虫の産卵を阻止する。 2 ヘアリーベッチ、大麦等を使用したリビングマルチの活用により、密度抑制を図る。 3 ほ場周辺の雑草(特にあぶらな科雑草)の防除に努める。 (判断、防除に関する措置) 1 発生予察情報、ほ場の見回り等に基づき、若齢幼虫時に薬剤散布等を実施する。 2 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報【アオムシ】 1 BT 剤 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>エスマルク D F</td></tr><tr><td>エコマスター B T</td></tr><tr><td>クオークフロアブル</td></tr><tr><td>サブリナフロアブル</td></tr><tr><td>ジャックポット顆粒水和剤</td></tr><tr><td>チューンアップ顆粒水和剤</td></tr><tr><td>デルフィン顆粒水和剤</td></tr><tr><td>トアローフロアブル C T</td></tr><tr><td>トアロー水和剤 C T</td></tr><tr><td>フローバック D F</td></tr></tbody></table> 2 下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>コテツフロアブル</td></tr><tr><td>ディアナ S C</td></tr><tr><td>カスケード乳剤</td></tr><tr><td>グレーシア乳剤</td></tr><tr><td>スピノエース顆粒水和剤</td></tr><tr><td>ブロフレア S C</td></tr><tr><td>マッチ乳剤</td></tr></tbody></table>	薬剤名	エスマルク D F	エコマスター B T	クオークフロアブル	サブリナフロアブル	ジャックポット顆粒水和剤	チューンアップ顆粒水和剤	デルフィン顆粒水和剤	トアローフロアブル C T	トアロー水和剤 C T	フローバック D F	薬剤名	コテツフロアブル	ディアナ S C	カスケード乳剤	グレーシア乳剤	スピノエース顆粒水和剤	ブロフレア S C	マッチ乳剤	○ 被覆資材の除去は夏季では収穫予定日の5～7日前に、冬から春は10日前を目安にする。
薬剤名																					
エスマルク D F																					
エコマスター B T																					
クオークフロアブル																					
サブリナフロアブル																					
ジャックポット顆粒水和剤																					
チューンアップ顆粒水和剤																					
デルフィン顆粒水和剤																					
トアローフロアブル C T																					
トアロー水和剤 C T																					
フローバック D F																					
薬剤名																					
コテツフロアブル																					
ディアナ S C																					
カスケード乳剤																					
グレーシア乳剤																					
スピノエース顆粒水和剤																					
ブロフレア S C																					
マッチ乳剤																					

病害虫	防除法	参考事項																											
コナガ	(予防に関する措置) 1 生育初期から被覆資材(ワリフ、寒冷紗、タフベル、パスライト等)で覆い成虫の産卵を防ぐ。 2 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 3 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫ネットによる被覆を行う。 4 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。 (判断、防除に関する措置) 1 卵や若齢幼虫が寄生している葉を見つけ次第、除去する。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 4 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 交信かく乱剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>コナガコン</td></tr><tr><td>コナガコンープラス</td></tr><tr><td>コンフューザーV</td></tr></table> 2 BT 剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>エスマルクDF</td></tr><tr><td>エコマスターBT</td></tr><tr><td>クオークフロアブル</td></tr><tr><td>サブリーナフロアブル</td></tr><tr><td>ジャックボット顆粒水和剤</td></tr><tr><td>チューンアップ顆粒水和剤</td></tr><tr><td>デルフィン顆粒水和剤</td></tr><tr><td>トアローフロアブルCT</td></tr><tr><td>トアロー水和剤CT</td></tr><tr><td>フローバックDF</td></tr></table> 3 下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>アフーム乳剤</td></tr><tr><td>コテツフロアブル</td></tr><tr><td>ディアナSC</td></tr><tr><td>ブレオフロアブル</td></tr><tr><td>モスピラン粒剤</td></tr><tr><td>アクセルフロアブル</td></tr><tr><td>カスケード乳剤</td></tr><tr><td>グレーシア乳剤</td></tr><tr><td>スピノエース顆粒水和剤</td></tr><tr><td>プロフレアSC</td></tr><tr><td>マッチ乳剤</td></tr></table>	薬剤名	コナガコン	コナガコンープラス	コンフューザーV	薬剤名	エスマルクDF	エコマスターBT	クオークフロアブル	サブリーナフロアブル	ジャックボット顆粒水和剤	チューンアップ顆粒水和剤	デルフィン顆粒水和剤	トアローフロアブルCT	トアロー水和剤CT	フローバックDF	薬剤名	アフーム乳剤	コテツフロアブル	ディアナSC	ブレオフロアブル	モスピラン粒剤	アクセルフロアブル	カスケード乳剤	グレーシア乳剤	スピノエース顆粒水和剤	プロフレアSC	マッチ乳剤	○ 被覆資材の除去は夏季では収穫予定日の5～7日前に、冬から春は10日前を目安にする。
薬剤名																													
コナガコン																													
コナガコンープラス																													
コンフューザーV																													
薬剤名																													
エスマルクDF																													
エコマスターBT																													
クオークフロアブル																													
サブリーナフロアブル																													
ジャックボット顆粒水和剤																													
チューンアップ顆粒水和剤																													
デルフィン顆粒水和剤																													
トアローフロアブルCT																													
トアロー水和剤CT																													
フローバックDF																													
薬剤名																													
アフーム乳剤																													
コテツフロアブル																													
ディアナSC																													
ブレオフロアブル																													
モスピラン粒剤																													
アクセルフロアブル																													
カスケード乳剤																													
グレーシア乳剤																													
スピノエース顆粒水和剤																													
プロフレアSC																													
マッチ乳剤																													
ネキリムシ類	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 発生を認めたら、ダイアジノン粒剤5を散布する。																												

病害虫	防除法	参考事項																																						
アブラムシ類	(耕種的・物理的防除) 1 近紫外線除去フィルムは成虫の飛来を減らす効果があるので、これらのフィルムを施設の外張りやトンネルに使用する。 2 マルチをする場合は、シルバーポリマルチなど忌避効果のあるものを使用する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 生物的防除 <table><thead><tr><th>薬剤名（天敵名）</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>アフィパール (コレマンアブラバチ)</td><td>施設栽培で登録</td></tr><tr><td>コレトップ (コレマンアブラバチ)</td><td>施設栽培で登録</td></tr><tr><td>チャバラ (チャバラアブラコバチ)</td><td>施設栽培で登録</td></tr><tr><td>テントップ (ナミテントウ)</td><td>施設栽培で登録</td></tr><tr><td>カメノコS (ヒメカメノコテントウ)</td><td>施設栽培で登録</td></tr><tr><td>ゴッツA (ベキロマイセス テヌイペス)</td><td>施設栽培で登録</td></tr><tr><td>プリファード水和剤 (ベキロマイセス フモソロセウス)</td><td>ワタアブラムシで登録</td></tr></tbody></table> 2 気門封鎖剤 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>エコビタ液剤</td></tr><tr><td>オレート液剤</td></tr><tr><td>サフオイル乳剤</td></tr><tr><td>サンクリスタル乳剤</td></tr><tr><td>粘着くん液剤</td></tr><tr><td>フーモン</td></tr><tr><td>ムシラップ</td></tr></tbody></table> 3 抵抗性の回避のため、異なった群から薬剤を選びローテーション散布を行う。なお、くん煙剤の使用方法については、参考事項のとおり。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>オルトラン水和剤</td></tr><tr><td>アクタラ顆粒水溶剤</td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td></tr><tr><td>ダントツ水溶剤</td></tr><tr><td>モスピラン顆粒水溶剤</td></tr><tr><td>ベリマークSC</td></tr><tr><td>トランスフォームフロアブル</td></tr><tr><td>ウララDF</td></tr><tr><td>ジェイエース粒剤</td></tr><tr><td>アクタラ粒剤5</td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン粒剤</td></tr><tr><td>ダントツ粒剤</td></tr><tr><td>モスピラン粒剤</td></tr></tbody></table>	薬剤名（天敵名）	備考	アフィパール (コレマンアブラバチ)	施設栽培で登録	コレトップ (コレマンアブラバチ)	施設栽培で登録	チャバラ (チャバラアブラコバチ)	施設栽培で登録	テントップ (ナミテントウ)	施設栽培で登録	カメノコS (ヒメカメノコテントウ)	施設栽培で登録	ゴッツA (ベキロマイセス テヌイペス)	施設栽培で登録	プリファード水和剤 (ベキロマイセス フモソロセウス)	ワタアブラムシで登録	薬剤名	エコビタ液剤	オレート液剤	サフオイル乳剤	サンクリスタル乳剤	粘着くん液剤	フーモン	ムシラップ	薬剤名	オルトラン水和剤	アクタラ顆粒水溶剤	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	ダントツ水溶剤	モスピラン顆粒水溶剤	ベリマークSC	トランスフォームフロアブル	ウララDF	ジェイエース粒剤	アクタラ粒剤5	スタークル/アルバリン粒剤	ダントツ粒剤	モスピラン粒剤	○ 天敵農薬使用上の留意事項 1 天敵昆虫製剤 (1) 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。 (2) アブラムシ類の生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。また、アブラムシの種類と天敵の組み合わせによっては、効果が認められない場合がある。 2 天敵微生物製剤 (1) 使用期間中にやむをえず他剤を併用する場合は、農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」を参照し、影響の少ない農薬を選択する。 (2) アブラムシ類の生息密度が高まってからの散布では十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの処理が重要である。 ○ くん煙剤の使用については、共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用法の項を参照する。
薬剤名（天敵名）	備考																																							
アフィパール (コレマンアブラバチ)	施設栽培で登録																																							
コレトップ (コレマンアブラバチ)	施設栽培で登録																																							
チャバラ (チャバラアブラコバチ)	施設栽培で登録																																							
テントップ (ナミテントウ)	施設栽培で登録																																							
カメノコS (ヒメカメノコテントウ)	施設栽培で登録																																							
ゴッツA (ベキロマイセス テヌイペス)	施設栽培で登録																																							
プリファード水和剤 (ベキロマイセス フモソロセウス)	ワタアブラムシで登録																																							
薬剤名																																								
エコビタ液剤																																								
オレート液剤																																								
サフオイル乳剤																																								
サンクリスタル乳剤																																								
粘着くん液剤																																								
フーモン																																								
ムシラップ																																								
薬剤名																																								
オルトラン水和剤																																								
アクタラ顆粒水溶剤																																								
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤																																								
ダントツ水溶剤																																								
モスピラン顆粒水溶剤																																								
ベリマークSC																																								
トランスフォームフロアブル																																								
ウララDF																																								
ジェイエース粒剤																																								
アクタラ粒剤5																																								
スタークル/アルバリン粒剤																																								
ダントツ粒剤																																								
モスピラン粒剤																																								

病害虫	防除法	参考事項
カブラハバチ	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 発生を認めたら、モスピラン顆粒水溶剤を散布する。	
キスジノミハムシ	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 は種前にフォース粒剤を全面土壌混和する。 2 スタークル/アルバリン顆粒水溶剤又はアクセルフロアブルを散布する。	